

全国訪問教育研究会

第29回全国大会（宮城）開催要項

2016年4月20日

■大会実行委員長あいさつ■

全国訪問教育研究会第29回全国大会は、本年8月に宮城県仙台市において開催いたします。

本会の東北地方における全国大会は、平成14年（2002年）に岩手県花巻市で行われた第15回大会以来となります。文部科学省が毎年発行している特別支援教育資料の最新版（平成26年度版）に掲載されている訪問教育対象児童生徒数の推移によれば、平成14年度においては小・中・高等部合わせて3,292名であるのに対し、平成26年度（2014年度）では3,116名となっており、ほぼ横ばい状態が続いています。インクルーシブ教育が世界の潮流となる中で、家庭や病院あるいは施設において教育を受ける子どもたちは、最も制約の大きい教育環境の中で教育を受けている子どもたちであり、一般的には、より制約の少ない環境での教育を受ける機会を得ることが望まれると捉えられるかもしれません。しかしながら、上述した訪問教育対象者数の近年の推移は、そのような制約があっても一定数の児童生徒は訪問教育を是非とも必要としていることを示しており、このような子どもたちに対し学習の機会を保障することに訪問教育の意義があります。この15年弱の間、対象児童生徒の障害の状態像はどのように変化したのか、私は具体的な資料を持ち合わせていませんが、発展した小児医療や救急医療に支えられながら生を維持している子どもたちや、学齢時に教育を受ける機会を得ることができなかった方々が多くいるのではないかと予想します。このような方々に対してどのような教育を行うことが相手の生命の質を高め、生活を豊かにすることになるのでしょうか。

また、本大会は、平成23年（2011年）3月の東日本大震災発生以来、大津波被害を被った地での初めての開催として位置づけられます。この災害においては、多くの方々が犠牲になりましたが、障害のある方々の死亡率は、一般のそれに比べて2倍、3倍、あるいはそれ以上ともいわれます。震災後地元の新聞には、全国で犠牲になられた方々一人ひとりのお名前と年齢が掲載されましたが、そこには多くの学齢児の名前を見ることができました。この中には障害の重い子どもや訪問教育を受けていた子どもたちも含まれていることが予想されます。一方、命を救われた障害のある子どもたちや家族を取り上げた新聞記事や調査報告の中には、避難所生活が困難であることによる課題や地域とのつながりを深めるための課題が指摘されてきています。本年3月には大震災発生5周年を迎え、新聞やテレビでは現在の復興状況や防災への取り組みに関する記事やシンポジウム等の様子が紹介されました。しかし、そこに障害のある方々を取り上げたものはほとんどないように思います。宮城県で開催される本会の全国大会は、参加者の皆さんが、訪問教育対象者の命を守るための取り組み内容を改めて考える機会になるよう期待しています。

全国訪問教育研究会第29回全国大会（宮城）実行委員長

川住 隆一（東北福祉大学教育学部教授）

■大会テーマ■

「学校・地域に根ざした訪問教育を進めよう」

■開催日時■

2016年8月1日（月）～3日（水） 開場12時00分（開会13時00分）

■会場■

フォレスト仙台

〒981-0933 宮城県仙台市青葉区柏木1-2-45 TEL 022-271-9340

■主催■

全国訪問教育研究会

■後援■ （※申請中を含む）

文部科学省・厚生労働省

全国特別支援教育推進連盟・全国特別支援学校肢体不自由教育校長会

全国特別支援学校知的障害教育校長会・全国特別支援学校病弱教育校長会

社会福祉法人全国重症心身障害児(者)を守る会・全国訪問教育親の会・全国病弱教育研究会

全国肢体不自由特別支援学校PTA連合会・認定NPO法人難病のこども支援全国ネットワーク

独立行政法人国立特別支援教育総合研究所

宮城県教育委員会、仙台市教育委員会、宮城県特別支援学校校長会、宮城県特別支援学校等PTA連絡協議会

宮城県重症心身障害児(者)を守る会

■大会日程■

8月1日		8月2日		8月3日	
12:00	開場・受付開始	9:00	分科会打ち合わせ（司会 共同研究者・レポーター）	9:00	ワークショップ準備
13:00	開会行事・基調報告 （～13:50）	10:00	分科会	9:30	ワークショップ （～11:00）
14:00	記念講演（1） （～15:20）	12:30	昼食	11:15	全体会 ・閉会行事
15:35	記念講演（2） （～16:55）	13:50	分科会 全国訪問親の会懇談会	11:45	大会終了
16:55	記念講演終了 諸連絡	16:20	分科会終了		
17:20	全訪研総会（～18:00）	16:30	共同研究者・役員懇談 （16:30～17:30）		
		18:00	夕食交流会（～20:00）		

※8/2の午後に、全国訪問教育親の会懇談会を行います。（場所は、会場近辺です。）

■内容■

（1）大会記念講演① （8/1 14:00～15:20）

演 題：「子育て支援としての小児在宅医療」

講 師：田中 総一郎（医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所新松戸医師・理事）

（講師紹介）

奈良県生まれ。東北大学医学部卒業。

その後、山形市立病院済生館小児科、国立精神・神経センター武蔵病院小児神経科、

心身障害児総合医療療育センター小児科、宮城県拓桃医療療育センター地域・家族支援部長 小児科医療部長
などで学びました。

平成24年10月1日から東北大学大学院医学系研究科発生・発達医学講座小児病態学分野 准教授

専門分野 障害児医療 小児神経学 睡眠障害 呼吸障害

最近の著書「重症児者の防災ハンドブック-3.11を生きぬいた重い障がいのある子どもたち」（クリエイツかも
がわ 2012）

医療と福祉と教育とご家族の橋渡しの役割が出来ればと思っています。

（講演要旨）

近年の小児医療の進歩は目覚ましく、日本の現在の新生児死亡率は1000出生に対して1と世界で最も低いことが知られています。多くの子どもたちは元気に退院していきますが、気管切開や人工呼吸器など濃厚な医療を必要とする子どもたちも増えてきました。医療が必要な子どもたちは、いまのところ医療者やご家族のいるところでしか生きることができず、制限の多い生活を強いられています。子どもたちはもっとたくさんの人と出会い、社会的な存在になり、自分の人生を歩む権利があります。子ども一人を幸せにするには、他の職種と協力する必要があります。多職種連携がうまくいくポイントは、相手に対する寛容と尊重です。子どもたちが「生まれてきてよかった」と思えるような社会を私たち教育者や医療者が協力して作っていくことが大切です。

講演では、いのちのたいせつさを子どもたちに伝える「いのちの授業」の紹介と、在宅医療を受けている子どもたちを支える小児在宅医療、訪問診療の実際をお伝えいたします。

（２）大会記念講演② （8/1 15:35～16:55）

演 題： 「訪問教育研究の動向と課題」

講 師： 川住 隆一（東北福祉大学教育学部教授）

（講師紹介）

国立特殊教育総合研究所重複障害教育研究部研究員・主任研究官・研究室長（1978年5月～2002年3月）

東北大学大学院教育学研究科教授（2002年4月～2016年3月）

東北福祉大学教育学部教授（2016年4月～現在）

全国訪問教育研究会とは、1996年に京都で開催された第9回大会以来のつながりである。

（講演要旨）

演者は昨年、日本特殊教育学会の機関誌「特殊教育学研究」に、「訪問教育に関する研究の動向と課題」と題するレビュー論文を発表した。これは本研究会の活動に長年携わっておられた故加藤忠雄先生（元福井大学教授）の遺志を引き継ぐ思いで、2000年から2012年までに学術誌に発表された論文をまとめたものである。本講演においては、このレビュー論文で取り上げた内容を紹介するとともに、重度・重複障害児教育（訪問教育を含む）の研究に携わってきた演者の経験を踏まえて、訪問教育に携わる方々や本研究会への期待を述べる予定である。

（３）全訪研総会 （8/1 17:20～18:00）

全訪研の昨年度の活動、今後の活動方針等について総会を行います。

① 活動報告（2015年8月～2016年7月の全訪研の活動内容）

② 2015年度決算報告、会計監査 ③2016年度予算 ④活動方針

⑤規約 ⑥役員候補 ⑦事務局員委嘱

（４）分科会 （8/2 10:00～16:20 ※12:30～13:50は休憩）

分科会名	分科会のねらい（◆共同研究者）	
① 健康・身体づくり 1 （障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わり）	○障害が重く、日常的にさまざまな健康管理の必要な子どもに対する関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。（※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です。） ◆竹脇 真悟（埼玉県立宮代特別支援学校）	
②健康・身体づくり 2 （姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わり）	○姿勢づくりや子どもの活動を引き出す関わりについて考えます。呼吸・摂食・排泄・運動動作などの指導について講義・実践を交えながら交流しましょう。（※午前はレポート報告、午後は実技講座を行う予定です。） ◆川真田 喜代子（淑徳大学）	
③コミュニケーション 1 （AACを用いたコミュニケーション）	○重度・重複障害児のコミュニケーションを育てるための援助や配慮について、レポートを元に訪問での実践内容を交流しましょう。	子どもたちの表出や表現を援助する手段としてAACが注目されています。そのような実践から学びましょう。AAC:Augmentative and Alternative Communication（拡大・代替コミュニケーション） ◆寺本 淳志（宮城教育大学）
④コミュニケーション 2 （重症児のコミュニケーション）	小中学部の訪問生だけでなく、過年度生など青年期に入っている生徒についても、「コミュニケーション」という視点から幅広く討議しましょう。	「反応がつかめない」「応答が乏しい」と言われがちな子どもたちですが、丁寧な関わりで意思表示や心の内面を捉えていく実践やその方法について話し合いましょう。 ◆川住 隆一（東北福祉大学）
⑤あそび・文化	○障害が重く、限られた環境条件の中での「あそび」は、どの教師も親も悩むところだと思います。貴重な経験や工夫を交流しあって共有の財産としましょう。訪問での実践内容、また、青年期に入っている生徒への実践についても、「あそび」から発展した「文化」という視点から幅広く討議しましょう。 <u>☆参加される方は、教材を持ってくるください。分科会内で教材紹介を行います。</u> ◆木下 博美（全訪研副会長・京都府立舞鶴支援学校）	

⑥地域での生活支援と教育 ー医療・教育・生活	○「地域の中で生きる」視点での生活支援、卒業後の進路を見通した指導、アフターケア、社会参加など、子どもたちの教育と生活を豊かにする地域支援のネットワークづくりが大切になっています。医療的ケアを必要とする障害の重い子どもたちから内部疾患を持つ子どもたちの地域での生活など、様々な障害のある子どもたちの就学前から在学中、卒業後までの教育と生活を考えていきましょう。 ◆下川 和洋（全訪研全国事務局・NPO法人地域ケアさぽーと研究所理事） ◆可野 裕一（地域生活サポートセンター ビボット若林 障害者相談支援事業 くれよん）
⑦施設内の教育	○分教室や施設内学級、施設訪問等の教育内容について、具体的事例を通じて実践を深めていきましょう。また、就学免除者等不就学者の教育保障について関係者との連携を大切にしながら進み始めている実践を交流しましょう。 ◆河合 隆平（金沢大学）
⑧病気療養児の教育	○“生きる力を育む”いのちの輝く教育を求めて、病気療養児の教育内容・方法や、院内学級・分教室・病院内訪問教育の実践を深めていきましょう。 ◆村上 由則（宮城教育大学）

●分科会レポートの申込みについて

分科会でのレポート発表を希望される方は、次の①～⑤について、**6月10日までにレポート担当宛に連絡をお願いします。**レポート担当者より、印刷部数やレポート送付先を連絡します。

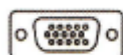
- ①分科会名・氏名・学校名または所属先名 ②自宅住所と電話番号(FAXの有無)・メールアドレス
③レポートタイトル ④使用する視聴覚機器(DVD、パソコン等)
⑤レポートの配布などに関して、個人情報保護の配慮が必要かどうか

<レポート担当> 全国訪問教育研究会 全国事務局 栗山 弘子
FAX 03-5330-8857 h-kuri@peach.ocn.ne.jp

●レポート発表に関して

- ・大会実行委員会で用意できる視聴覚機器は、原則として、プロジェクターとスクリーンです。パソコン、DVD、その他の機器を使用する場合は、各自でご用意ください。音声再生が必要な場合、小型スピーカーや音声再生用の接続ケーブルの用意をお願いします。

会場で用意するプロジェクターの入力端子はミニD-Sub15ピンのみです。お手持ちのパソコンの出力端子がミニD-Sub15でない場合は、変換アダプターが必要です。
パソコンに応じた変換アダプター（HDMI-VGA、Mini Display Port-VGA、DVI-VGAなど）を必ずご持参ください。



(ミニ D-Sub15 ピン)

- ・発表されたレポートは、全訪研研究集録「訪問教育研究 第29集」に掲載させていただく場合があります。原稿依頼を受けた際はよろしくお願いします。

●大会参加者へのレポートの配布について

- ・各レポート配布はレポーターの判断を尊重します。個人情報保護の観点から、原則としては発表される分科会の中のみとなります。
- ・各分科会の内容は、2017年1月発行の「訪問教育研究第29集」（1000円+送料）に掲載されます。大会の会場でも予約を承りますので、他の分科会のレポートを知りたい方はご利用ください。

(5) 全国訪問教育親の会懇談会 (8/2 13:50~16:20)

大会2日目の午後に、全国訪問教育親の会懇談会を開きます。思っていること、悩んでいること、いろいろ話しに来てください。訪問（卒業生も含めて）の保護者のみなさんの参加をお待ちしています。皆さんのお話に共感し、アドバイスをしてくださる方がいらっしやると思います。

(※場所は、フォレスト仙台の隣の「カフェ ソヨ」です。)

(6) 夕食交流会 (8/2 18:00~20:00)

交流会は、全国のみなさんとざくばらんに話し、つながる場です。お互いの都道府県での苦労話や感動を話したり、分科会では聞けないとおきの話が聞けたりするかもしれませんね。どうぞ、みなさん、参加してください。(※参加する場合、交流会費は5,500円です。)

(7) ワークショップ (8/3 9:30~11:00)

	ワークショップ名	講師	内 容
A	訪問なんでも情報交換会	岡田敏男 (全訪研副会長) 檜木暢子 (全訪研副会長)	他県、他校の訪問教育の様子を知りたい。また、自分の学校の訪問教育について知ってほしい、これでいいのかなど、様々な悩みについて語り合ひましょう。きっと、明日から、9月からの活力になると思います。
B	重症児の発達とコミュニケーション	高木 尚 (全訪研会長)	重症児の意思表示をどう捉えていくのか、関係の中でどんな力が育っていくのか、一緒に考えてみませんか。
C	授業づくり	木下博美 (全訪研副会長)	表出の少ない重度の訪問の子どもたち。どうすれば、その心に触れることができるのか？どんな授業ができるのか？悩みながらの実践をお伝えします。
D	医療的ケアの動向	下川和洋 (全訪研 全国事務局・NPO 法人地域ケアさぼ ーと研究所理事)	2011年に「社会福祉士及び介護福祉士法の一部改正」が行われ、介護福祉士の他に介護職員等（特別支援学校の教員等も含む）の非医療職が行う痰の吸引等が法律に位置づけられました。2012年4月1日の法施行により、自治体間での取り組みに温度差が出ています。ここでは、国の制度設計や実施上の課題について学習します。
E	特別支援教育に生かす音楽療法～訪問教育への試み～	高山 仁(日本音楽療法学会理事 たかやま音楽療法研究所主宰)	子どもは「今」を一生懸命生きて「生きる力」を育んでいます。音楽療法はその育ちのために良質な環境を提供できます。それは「音楽」が知・情・意・体へ関与する統合的なメディアになり得るからです。本分科会では、〈カラダ・モノ・ヒト・コト〉という関係対象を段階的に意識しながら「育ちの場」についてワークをしながら解説したいと思います。
F	在宅医療機器を利用している重症児者の防災～東日本大震災から学ぶ～	武山裕一 (株式会社ALIVE 代表)	東日本大震災では震災直後、宮城県の一部が停電し、水道、都市ガスなどのライフラインも使用できない状況でした。関東地方でも計画停電が行われるなど、在宅医療機器を利用している重症児者のいる家庭では、特に電源の確保に関して不安な日々が続きました。今回の経験から、災害時の医療機器と電源の確保についてみんなで学びましょう。

(8) 全体会（閉会行事） (11:15~11:45)

大会最終日の全体会です。以下の内容を予定しています。

- ・実行委員長あいさつ ・大会宣言
- ・次回開催地への引き継ぎ ・閉会あいさつ ・歌「小さいのち」

■わくわくクラブ（保育）と緊急時の体制について■

実行委員会では、子どもさんや障害があるお子さん連れでも、保護者の方に参加していただきやすいように、わくわくクラブ（保育）を設けます。

●時間帯 次の4つの時間帯でわくわくクラブを実施します。

- (a) 8月1日（月）13:00~18:00
- (b) 8月2日（火）10:00~12:30
- (c) 8月2日（火）13:50~16:20
- (d) 8月3日（水）9:30~11:45

●緊急時の体制と医療機関（緊急時には、会場近くの下記の病院に対応をお願いしています。）

東北大学病院（青葉区星陵町1-1 TEL022-717-7000）

●わくわくクラブ（保育）申込み

- ・大会参加申込書の「わくわくクラブ（保育）の希望」の欄にご記入ください。
- ・申込み受け付け後、お子さんの生活ケアや医療的ケアの様子を知るために、担当者から連絡させていただきますので、よろしくお願いします。
- ・クラブ参加費用、おやつ代や見学代等の費用をいただきます。

・大会当日に、保険証または、そのコピーをご持参ください。

■参加費■

(1) 大会参加費

・一般	3日参加：7,000円	2日参加：5,000円	1日参加：3,000円
・全訪研会員	3日参加：5,000円	2日参加：4,000円	1日参加：2,000円
・保護者・学生	3日参加：2,000円	2日参加：1,500円	1日参加：1,000円

※参加費に加えて、お一人につき、500円の手数料をいただきます。（事前申込み、当日申込みのどちらも500円の手数料がかかります。）

※会員と一般は費用が異なりますので、ご注意ください。参加申込みと同時に会員申込みをすることも可能です。参加申込書の「入会を申し込む」の欄に○をつけてください。（会員参加費になります。）
入会には年会費4,000円が別途必要です。会費は大会当日に全訪研受付でお支払いください。

(2) 食事関係

夕食交流会（8/2 18:00～20:00） 5,500円

◆2日目（8/2）昼の弁当の用意は、ありません。会場周辺の飲食店をご利用ください。

★宿泊や申し込み方法等については、別紙資料をご覧ください。

■資料の請求について■

大会に参加できないが大会記録がほしいという場合は、2017年1月に発行される「訪問教育研究 第29集」を送付致します。（送付は来年の1月です。）大会の記念講演や分科会まとめ、その他、訪問教育に関する資料が掲載されています。下記の郵便口座に資料代（送料込み）として、1200円の入金をお願いします。郵便振替用紙の「通信欄」に「資料請求代」と明記して下さい。

【資料請求の振込先】 郵便振替口座番号「00130-2-95934 全国訪問教育研究会」

（※全訪研会員には、2017年1月に機関紙「こんにちは」と一緒に「訪問教育研究 第29集」を送付しますので、資料請求のみの申込みはしないでください。）

■第7次全国調査冊子の申込み

全国訪問教育研究会では、4年ごとに訪問教育に関する全国調査を実施しています。2013年度調査結果の冊子を500円で販売します。ご希望の方は、参加申込書の「第7次全国調査冊子」の欄に○をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。

■「訪問教育研究 第28集」の申込み

（※昨年、発行した研究冊子です。）

昨年の大会の記念講演や分科会の内容、

訪問教育に関する資料が掲載されています。1冊1,000円です。

購入希望の方は、参加申込書の「全訪研 第28集冊子」の欄に○をつけてください。大会当日、会場で冊子をお渡しします。

代金は、当日、全訪研受付でお支払いください。

■問い合わせ先■

<全訪研会長> : 高木 尚 takagi.1955@outlook.jp

<全国事務局長> : 長 正晴 Tel&Fax 049-231-6941 chou_masaharu@yahoo.co.jp

<参加申し込み・宿泊関係>

（株）近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店

Tel 022-221-6711（平日9:00～17:30 土日祝日は休み） Fax 022-221-6180

<大会全般>堀 亨（大会事務局長） miyahren@yahoo.co.jp

○全訪研ホームページ <http://zenhoken.com>

（こちらからも開催要項、参加申込書のダウンロードができます。

全訪研に関するいろいろな情報も見られますので、ぜひ、ご覧ください。）

■会場へのアクセス■

＜タクシーご利用の場合＞

JR仙台駅より約10分

＜バスご利用の場合＞

JR仙台駅周辺のバス停より北仙台方面行きに乗車し、「堤通雨宮町」下車徒歩2分

⇒仙台市営バスのりば

13番・14番（仙台駅 西口バスプール）

⇒宮城交通バスのりば

4番・6番（仙台駅 西口バスプール）

＜地下鉄ご利用の場合＞

北四番丁駅下車「北2出口」より

徒歩約7分

＜JRご利用の場合＞

JR仙山線「北仙台駅」下車、徒歩約30分

＜駐車場のご案内＞

立体及び平面駐車場あり（30分ごと100円）



全国訪問教育研究会

第29回全国大会(宮城)

参加申込み・宿泊・夕食交流会要項

謹啓 皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
本大会の開催にあたりまして、全国各地からご来場される皆様のご宿泊・懇親会の手配を私共、
㈱近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店にて担当させていただくこととなりました。
ご参加されます皆様が大会に快適に滞在される様、万全の体制で取り組ませていただきます。
また、下記のご案内を参照の上、別紙申込書にご記入いただき、期日までにお申込み下さいますよう、
お願い申し上げます。

謹白

1、取扱（適用）期間・対象者

平成28年8月1日（月）～2日（火）2泊 （大会期間は8月1日～3日です）

この要項の適用対象者は、第29回全国訪問教育研究大会に参加する一般、全訪研会員、保護者、
学生とします。

2、宿泊のご案内（株式会社近畿日本ツーリスト東北仙台教育旅行支店が旅行企画・実施する「募集型企画旅行」です）

ご旅行代金（宿泊プラン）について（1泊朝食付の設定です。ホテルについてはシングル・ツインを基本に
ご用意しております）

（1）ご旅行代金（宿泊プラン）は、税金・サービス料・企画料金を含む1名当りの金額です。

（2）最少催行人員 1名（添乗員は同行いたしません）

（3）旅行代金に含まれるもの：①宿泊代金 ②食事代金（朝食1回、昼食0回、夕食0回）

（4）旅行に含まれないもの：上記以外は旅行代金に含まれませんが、参加にあたって通常必要と
なる費用を例示します。

●個人的性格の費用：①飲食代・クリーニング代・電話代など ②傷害、疾病に関する医療費 ③任意の旅行傷害保険代

記号	宿泊施設	部屋タイプ	旅行代金
①	ホテルパールシティ仙台	シングル(お一人様1名1室)	7,500
		ツイン(お一人様2名1室)	7,000
②	ホテルグリーンウィズ	シングル(お一人様1名1室)	8,000
		ツイン(お一人様2名1室)	8,000
③	アークホテル仙台青葉通り	シングル(お一人様1名1室)	8,000
		ツイン(お一人様2名1室)	7,000
④	スマイルホテル仙台湾分町	シングル(お一人様1名1室)	8,300
		ツイン(お一人様2名1室)	7,300

ご宿泊に関する注意事項

- (1) 宿舎によってご希望が集中するため、ご要望にお応えできない場合がございますので、あらかじめご了承ください。その場合希望と異なる宿舎で配宿をお願いすることもございます。
- (2) チェックインは午後3時00分以降、チェックアウトは午前10時00分までを原則とします。それ以前、以降のご利用については追加料金となる場合があります。
- (3) 朝食の欠食扱い（控除）はいたしません。
- (4) 宿舎の駐車場には限りがあります。駐車場をご利用の場合、宿舎決定後に各宿舎駐車場の状況をご自身で確認をお願いします。なお、駐車料金が別途必要になる場合は、ご自身で精算をお願いします。
- (5) その他条件は、株式会社近畿日本ツーリスト東北募集型企画旅行約款によります。

3、夕食交流会のご案内(手配旅行契約)

下記の通り夕食交流会を開催いたしますので、参加希望の方は、別紙申込書にご記入をお願いいたします。

日時：8月2日（火）18:00～20:00

会場：TKPガーデンシティ仙台勾当台（仙台市青葉区国分町3-6-1 仙台パークビル2F/3F）

料金：お一人様5,500円 [ビュフェプラン+フリードリンク]

4、申込み方法、お申込み締切日について

- (1) 別紙申込書に必要事項をご記入の上、**FAX**にてお申込みください。
電話による受付は行っておりません。
- (2) 申込締切後、7月8日（金）までに 郵送にて【宿泊予約回答書（兼）請求書】をお送りいたします。
予約回答書が到着いたしましたら速やかに内容をご確認ください。万が一相違の際はお手数でも早急に弊社までご一報ください。

◎申込締切日 **平成28年6月23日（木） 17:00まで**

5、申込書記入上のお願い

- (1) 弊社が大会参加者の個人情報、大会参加者との連絡や大会事務局との打ち合わせ、宿泊機関等の手配の為に利用させていただくほか、必要な範囲において当該機関等へ提供することを同意の上、チェック欄にご記入ください。
- (2) 『新規・変更』欄に必ず○をお付けください。変更の際もその都度お願いいたします。
- (3) 『希望宿泊記号記入欄』は (記号)のみご記入いただき、特記事項欄に必ず第3希望までご記入ください。
- (4) 『氏名』欄には申込者すべての方の氏名・性別・年齢・区分をご記入ください
- (5) 『宿泊希望日・交流会希望』欄は希望日に○をご記入下さい。

6、費用のお支払いについて

- (1) 【宿泊予約回答書（兼）請求書】の内容をお確かめの上、下記指定銀行口座へ **7月21日（木）正午まで（期日厳守）**にご入金ください。なお、予約内容に相違がある場合は、お振込み前にお申し出ください。
- (2) 振込の際、依頼人の欄に必ず「**学校名（市町村立はつけない）+代表者名**」をご入力ください。
例：『ケーエヌティーコウトウガッコウ キンキタロウ』

(3) ご入金は下記口座へお願いいたします。

大変恐れ入りますが振込手数料はお客様負担にてお願い申し上げます。

銀行名：三菱東京UFJ銀行 振込第二支店

口座番号：(普通) 8481387

口座名：(株) きんきにっぽんつーりすととうほく 近畿日本ツーリスト東北

(4) 送金後の変更・取消により返金が生じた場合は、指定口座へのお振込み、又は大会当日会場内の「近畿日本ツーリスト東北ツアーデスク」にてのみ返金させていただきます。

※宿泊施設においての返金はい行いませんので、予めご了承ください。

(5) 金融機関発行の「振込金受領書」以外に別途弊社領収書をご要望の際は、【予約回答書（兼）請求書】と一緒に郵送いたします『領収書作成依頼書』に必要事項をご記入の上、事前に弊社宛てに送信してください。

領収書は、大会当日会場の「近畿日本ツーリスト東北ツアーデスク」にてお渡しさせていただきます。

7、宿泊・懇親会の変更・取消について

(1) お申込み後に変更・取消が生じた場合は、速やかに弊社まで **FAX**にてご連絡願います。

お申込書原本に変更・取消内容をご記入の上、送信してください。

(ご出発後の連絡は電話にてお受けします)

(2) お電話による変更・取消は、お受け出来ませんのでご了承くださいませ。

(3) お申し出による取消料は以下の通りになります。

項目	取消の申出区分	取消料	期 日
宿 泊	宿泊日の20日前から8日前以前	旅行代金の20%	7月12日～7月24日
	宿泊日の7日前から、2日前まで	旅行代金の30%	7月25日～7月30日
	宿泊日前日	旅行代金の40%	7月31日
	宿泊日当日、但し12時まで	旅行代金の80%	8月1日 12時まで
	宿泊日当日12時以降連絡なし不泊	旅行代金の100%	8月1日 12時以降

***但し、取消日が土・日・祝日の場合は、翌営業日になります**

8、その他

(1) 大会期間中は、仙台市内・その他近郊エリアの宿泊施設は、大変混雑が予想されます。

弊社では大会実行委員会より委託され宿泊予定人数分の宿泊施設を確保しておりますので、
宿泊のお申込みは極力弊社を通して行ってください。

(2) 大会期間中のお問合せ、ご相談がございましたら大会会場内「近畿日本ツーリスト東北ツアーデスク」へお越しください

9、お申込み・お問合せ

株式会社近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル5階

TEL：022-221-6711 FAX：022-221-6180

担当： 全国訪問教育研究会第29回全国大会(宮城)

(旅行企画・実施)

株式会社近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店

〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル5階

観光庁長官登録旅行業第1925号 JATA正会員

ボンド保証会員  旅行業公正取引協議会会員 公正取引協議会会員

総合旅行業務取扱管理者：石岡 政美

営業時間：9：00～17：45 (月～金) ※土日祝日休業

- 休業日と上記受付時間外の取消・変更のお申し出には対応ができませんので、翌営業日の受付となります。
- 旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う支店での取引責任者です。このご旅行の契約に関し、担当者からのご説明にご不明な点がございましたらご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。
- 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますので、事前にご確認の上、お申込みください。

個人情報取扱いについて

1. 当社は、旅行申込みの際にご提出いただいた個人情報について、お客さまとの連絡や運送・宿泊機関等の手配のために利用させていただくほか、必要な範囲内において当該機関等に提供いたします。
2. 当社、当社のグループ企業である近畿日本ツーリスト㈱等および販売店が取り扱う商品、サービスに関する情報をお客さまに提供させていただくことがあります。
3. 上記のほか、当社の個人情報の取り扱いに関する方針については、当社の店頭またはホームページでご確認ください。

パンフレット作成日：平成28年4月14日 承認番号：1595-16-04011

全 国 訪 問 教 育 研 究 会 第 2 9 回 全 国 大 会(宮 城) 参 加 申 込 書

☐ ←個人情報保護法に基づき下記事項に同意頂き、左のチェック欄にチェックをお願い申し上げます。

「大会参加手続き及び旅行手配」に必要な範囲内での運送・宿泊機関等その他への個人情報の提供について同意のうえ、上記の旅行に申し込みます。

新規 ・ 変更		←★必ず、ご記入ください。変更の際は、その都度、○をお付けください。		
フリガナ		フリガナ		
申込者名		所 属		
				連 絡 先
住 所	(ご自宅の住所をご記入ください) 〒 ー		所 属 先 T E L	
			自 宅 T E L	
			FAX	
			メールアドレス	
			携 帯 電 話 番 号	

参加(参加日に○をつけてください。)										交流会 8月2日 5500円	宿 泊			分 科 会	ワ ー ク シ ョ ッ プ	保 育	手 数 料 (500円)	係(司会・ 発表など)	合 計 金 額	第7次 全国 調査冊子	全訪研第28集冊子
フリガナ	性別	年齢		3日間	2日間	1日	①ホテルパールシティ 仙台 1泊朝食	シングル	ツイン		購入を希望される方は下記欄に「○」をご記入ください	購入を希望される方は下記欄に「○」をご記入ください									
			全訪研会員	5000円	4000円	2000円	②ホテル グリーンウィズ 1泊朝食	シングル	ツイン												
			一 般	7000円	5000円	3000円	③アークホテル仙台 青葉通り 1泊朝食	シングル	ツイン												
			学生・保護者	2000円	1500円	1000円	④スマイルホテル仙台 国分町 1泊朝食	シングル	ツイン												
8月1日	8月2日	8月3日	○で囲んで下さい	8月1日	8月2日	代金は、会場でお支払いください。															
例	トウホク タロウ	男 女		○	○	○	会 員 一 般 学生・保護者	○	シングル	②	シングル	②	①	F	○	○	司会	円			
1 (本人)		男 女					会 員 一 般 学生・保護者		シングル		シングル							円			
2		男 女					会 員 一 般 学生・保護者		シングル		シングル							円			
3		男 女					会 員 一 般 学生・保護者		シングル		シングル							円			

●変更・取消による返金の際の口座をご記入ください。				※特記事項(宿泊の第2・第3希望、ツイン申し込みの場合の同室希望者名、前泊希望、その他参加にあたっての希望など)										総合計		
金融機関	銀行・金庫・組合・農協			支店	※参加者記入欄が足りない場合は、申込書をコピーしてご利用ください。 ご変更などの場合はご面倒ですが、本紙に変更内容を追加記入の上、FAXにてお願いします。										円	
口座番号	普通 ・ 当座		No.													
(フリガナ)																
口座名義																

※お振り込みいただく"お名前"と同じにしてください。

受 付 No.

申込書 FAX:022-221-6180

■お申込み先 〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央1-7-20 東邦ビル5F
株式会社近畿日本ツーリスト東北 仙台教育旅行支店
全国訪問教育研究会 第29回全国大会係
電話:022-221-6711 平日9:00~17:45 土日祝日は休み